

レジメン番号	0039	レジメン名	G-Benda 初回サイクル
登録診療科	血液・腫瘍内科	使用薬剤	ガザイバ、トリアキシン
がん腫	濾胞性リンパ腫	インターバル日数	28日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 (/)	Day2 (/)	Day 8 (/)	Day 15 (/)	…Day28	Day1 (/)
ガザイバ 1000 mg/body	点滴	1000mg	↓		↓	↓	4週間を1コース	↓
トリアキシン(Benda) 90 mg/m ²	点滴	mg	↓	↓				↓

(支持療法)

パロノセトロン 0.75mg/body	点滴	0.75mg	↑				4週間を1コース	↑
デキサート 6.6mg/body	点滴	6.6mg	↑	↑				↑

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①ガザイバ	1000mg	生食 210ml	※1 下記参照/輸注ポンプ
②トリアキシン	100mg	生食 50ml	10分/点滴
③	パロノセトロン	0.75mg	30分/点滴
	デキサート	3.3mg	
④デキサート	3.3mg	生食 100ml	30分/点滴
⑤生食	500ml		メインルート/点滴

(day1)

投与間隔≫ (メインルート) (側管 30分) (側管 10分) (側管※1)
 投与順番≫ ⑤ → ③ → ② → ① → 終了

(day2)

投与間隔≫ (メインルート) (側管 30分) (側管 10分)
 投与順番≫ ⑤ → ④ → ② → 終了

(day8,15)

投与間隔≫ (メインルート) (側管※1)
 投与順番≫ ⑤ → ① → 終了

【備考】

・ガザイバ開始 30分～1時間前に、d クロロフェニラミン徐放錠 6mg、アセトアミノフェン錠 500mg を服用

※1 ガザイバ投与速度 初回：50mg/hr で開始、30分毎に 50mg/hr ずつ、最大 400mg/hr

まで上げることができる。2回目以降：前回の投与で Grade2 以上の infusion reaction が発現

しなかった場合は、100mg/hr で投与を開始し、30分毎に 100mg/hr ずつ、最大 400mg/hr まで

上げることができる。